



わだつみ



久留米市立荘島小学校

校長

さあ、跳ぶよっ！さん、ハイッ！！！！

～「みんなでなわとび」記録会～

大縄とびは、学年に合わせて、飛び方や速さを工夫できる楽しい運動です。荘島小ではこれまで「たてわり班で大縄とび」に取り組んでいました。

この「たてわり班での大縄とび」のよさは「①

高学年：常に下学年の視線を感じながら行動することになるため、学校をリードする自覚が育つ。②低学年：身近なモデル像をもとに成長していくことができる。」等があります。

メリットがあればデメリットもあるのが当然です。情意面の育ちを重視した活動のため、体力面の向上という点では十分とは言えない状態でした。コロナ感染予防や熱中症予防による外遊び等の減少で、全国的に子ども達の体力は落ちてきており、その傾向は本校でも同様です。そこで、本来の主目的である「体力向上」をめざし、今年度は「学年による大縄とび」に取り組みました。

「みんなでなわとび」荘島小チャレンジ! 2023

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
縄跳び 1回目		53				
縄跳び 2回目				122	185	196
縄跳び 3回目						
縄跳び 4回目						
縄跳び 5回目						
縄跳び 6回目						



練習が始まったある日、男の子がトボトボと足を引かずに登校してきました。「なんか、朝からきつそうな歩き方しているね。どうしたの?」と声をかけると「家で縄跳びの練習をしていて、筋肉痛です。」とのこと。休み時間や体育の学習の時間を利用し、練習に取り組んでできましたが、家でも練習していると聞き嬉しくなりました。

みまも 見守りのご協力を!

2月19日に行われる「久留米市少年健全育成駅伝大会」に向けて、出場児童が放課後

練習に励んでいます。この駅伝大会に向けて、地域の方が指導を

行ってくださっていますが、見守りの協力依頼が来ています。

放課後の約1時間(16:00~17:00)、学校周辺を走ります。

児童の安全確保のため曲がり角に立っていただいたり、応援の声

かけをしてくださったりしていただけると助かるとのこと(晴天の日



のみ)。ご協力いただける方は、直接運動場にお集まりください。

「やられたらやり返す、倍返しにする」

私達大人は、『トラブル・衝突・けんか・争いが起きた場合、

「やられたらやり返す、倍返しにする」という考え・行動をと

ると、トラブル・衝突・けんか・争いは更に大きくなる。そう

なると簡単には決着せず続いていく。同じ方法でやり返しても、

決して良い結果は生まれず、人間関係の修復・改善にはつながらない。』と

いうことを知っています。しかし、子どもはそうはいきません。「〇〇と言われた（され

た）から、やりかえした。」となってしまう。子ども達の話の話を聞いていると、よく

この言葉を耳にします。「いやだよ。やめてよ。」と上手く伝えることができず、そうなる

そういう時は、相手への怨みや憎しみへのやり返し、倍返しではなく、相手から

受けた恩・愛情・思いやりに対して、それを倍返ししていく子になってほしいと

願いながら、どうすればよかったのか一緒に考えるようにしています。

いのち まも じしんひなんくんれん 命を守る地震避難訓練



1月17日(火)「授業中に大地震発生」という想定で避難訓練を行いました。

まず、安全担当からリモートで、地震発生時の避難の心得を確認した後、緊急地震速報

とともに訓練を開始しました。どの学年も静かに素早く避難することができました。しかし、

実際に地震が発生した場合、扉が開かなかつたり、火事のために煙で前が

見えなかつたりと、様々な障害が想定されます。そんなときのために、落ち着いて行動でき

る力と、「自分の命は、自分で守る」強い気持ちを育てていきたいものです。

ちなみに…避難の心得「お・は・し・も・ち」

ご存じですか？

お子様に聞いてみてください。